

# 新人研修・保険薬局調剤コースを終えて

日時 2016年4月11日～4月14日

講師 ネオフィスト研究所

吉岡ゆうこ 先生

場所 新宿センタービル13F

田島賢次郎

## ・保険薬局で仕事をしていく上での心構え

### ・薬剤師関連法規

保険調剤は健康保険関係や薬剤師法、麻向法、覚醒剤取締法、PL法など色々な法律によって成り立っていることを学びました。

保険薬剤師として保険薬局で勤めていく上でこれらの法律のことは熟知していかなければならないと感じました。

薬局を取り巻く環境変化による調剤過誤の例では、後発医薬品調剤によるミスや、お薬手帳の見落としなどが多数報告されていて、そういった薬剤師の業務が過誤を起こしやすいのだと感じました。

また、遠隔服薬指導の話や、ドローンを使用したお薬の配達など想像もしないような話もお聞きすることができて、そのような時代になってもついていけるようにしていこうと思いました。薬局業界は常に環境が変化しているのだなと感じました。

### ・新人の勉強の進め方

薬を調べられる本をもつ。手帳を常に持つ。医薬品の場所を覚える。処方箋、添付文書、薬歴を中心に勉強する。先輩の仕事を真似る。一挙手一投足を真似る。月刊誌を購読する。書籍を買う。学会、セミナーへ参加する。症例報告会を行う。

保険薬局で働き出したばかりでどのような勉強を進めて良いのかわからなかったのが大変ためになりました。

常に学ぶ意識付け、習慣を身につけておきたいです。

### ・医療保険制度と調剤報酬

#### 医療保障制度の概要

社会保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険、労災保険、公費負担医療などで成り立っているのだと学びました。被保険者、被扶養者、保険者など基本的な言葉から教えていただきました。公費負担医療の種類では生活保護以外にも数多くあることを学びました。

調剤報酬の話では加算が取れる場合取れない場合など細かく学ぶことができました。

た。

薬剤料の計算の仕方なども細かく教えていただき、大変ためになりました。

保険関係や、調剤報酬で加算を取れる、または取れないなどの話は日々の業務で事務員から質問を受けた場合に答えられるようにきちんと学んでいきたいと思いました。

#### ・ 薬学的指導管理業務

～処方箋受付から薬歴管理まで～

処方箋受付・お薬手帳管理→処方箋点検→薬歴管理または初回アンケートの確認→面接の開始→情報収集→薬学的評価、検討（必要であれば、疑義照会）→調剤→薬剤交付、服薬指導→会計→薬歴管理

処方箋を受け取ってからの一通りの流れを教えてくださいました。

その際、礼儀であったり、言葉遣い、身だしなみであったりをきちんとしておくのが大事であることだと感じました。患者さんは、薬局を選ぶことができるので、そういった部分でも薬局を選んでもらう理由の一つにできるように、もっと改善できるところは改善していきたいと思いました。

#### ・ 疑義照会と服薬指導のロールプレイ

##### ・ 薬歴の書き方

薬歴は自己満足するためのツールではなく次の薬剤師が服薬指導しやすくするためのツールであることを学びました。そのために先生から教えていただいた見やすい薬歴の技術を実践しながら、ほかの薬剤師が見たときにわかりやすいものにしたいと思いました。

ロールプレイの時間は貴重でした。より実践的なシチュエーションで行うことができました。問い合わせる内容、代替案、他の医療機関との信頼を築く言葉遣いなど様々なことを教えていただきました。

全体を通して、保険に対する知識が足りないと感じました。今回学ばせていただいたことを忘れずに、もっと知識をつけいきたいと感じました。